

成果指標				
成果指標	防災行政無線による広報回数、携帯メールサービスの配信回数(気象予警報を除く)			
指標設定の考え方	市、消防署及び警察署からの緊急情報並びに行政情報の通報回数により防災行政無線と携帯メールサービスの有効活用を測定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	460	476	480	0
実績	447	477	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	同報系防災行政無線については、聞こえに関する問題があるが、音量調整・角度調整など、即改善可能なものは迅速に実施し、スピーカーの増設など予算措置の伴うものは計画だてて実施している。将来的には、財政状況、また、個人負担も視野に入れて戸別受信機導入等の解決策を検討していく必要がある。メール配信システムについては、利用者に対し、不審者情報や気象等に関する情報の発信を正確かつ迅速に行い、有効なツールとして認識して頂けるよう引き続き努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	災害発生等における緊急情報伝達方法として防災行政無線施設は必要不可欠であり、引き続き適切な維持管理を行う必要がある。平時の放送において聞こえない・うるさい等の苦情が寄せられており、地域の状況に応じた対応に努めている。個別受信機の配備は有効と考えるが、整備に多額の費用負担が必要であり、少なからぬ財政上の観点からの見方をせざるを得ないため、現時においてはその導入について慎重に見極めたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	